

氏名	柴坂 寿子 SHIBASAKA Hisako
所属 職名	人間文化創成科学研究科人間科学系 准教授
学位	理学博士（1988 京都大学）
専門分野	人間行動学,子ども行動学（幼稚園・保育園での子どもの行動観察研究）
URL	http://www.develop.ocha.ac.jp/
E-mail	shibasaka.hisako@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

幼稚園児
仲間集団
仲間関係
仲間文化

preschoolers
peer group
peer relationship
peer culture

主要業績

柴坂寿子・倉持清美（2010） 幼稚園クラス集団における乗り物遊びの開始過程 日本質的心理学会第7回大会発表論文集、87

研究内容 / Research Pursuits

第一に、ある公立幼稚園のクラス集団を入園から卒園まで2年間縦断調査したフィールドワーク資料（収集済み）の分析を行った。このクラス集団で繰り返された乗り物遊びを取り上げて、その開始に至るまでの過程をビデオ資料、フィールドノート等を元に分析し、仲間文化の開始過程を考察した。結果を日本質的心理学会第7回大会にて発表した。第二に、公立幼稚園において、2010年度入園のクラス集団のフィールドワークを行い、観察記録、保育者との話し合い記録を収集した。第三に、特別経費「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築」（代表：浜口順子准教授）により、発達臨床心理学講座専攻科目「発達臨床基礎演習?」の授業研究を、菊地知子講師と共同で行った。第四に、科学研究費「大学コミュニティにおける乳幼児保育の重層的カリキュラム」（代表：浜口順子准教授）による研究を行った。

■ 教育内容 / Educational Pursuits

第一に、生活科学部1年生の学部共通科目の教育を行った。「児童学概論」で子どもを理解する基本的視点を講義した。第二に、生活科学部・発達心理学講座の学生の専門教育を行った。「発達臨床基礎演習?」において、菊地知子講師と共同で、子ども理解につながる授業を行った。「発達臨床観察法」では観察法の基礎実習を行った。「発達社会文化論」では、園における子どもの行動について具体的事例を挙げながら講義した。「発達臨床論文演習?・?」で卒論の進捗状況報告や先行研究論文紹介を行わせ助言するとともに、卒業論文執筆及び口頭発表を指導・助言した。第三に、人間文化創成科学研究科前期課程、保育・児童学コースでは以下の科目を担当した。「子ども行動観察法特論」及び「子ども行動観察法演習」では現場における行動観察を行った論文等を取り上げて演習・講義を行った。「外書講読」(分担)を担当した。「人間発達科学論」「保育・教育支援研究方法論」で修論の中間報告に対して示唆を行った。また修論指導と修論審査を行った。人間文化創成科学研究科前期課程の入試に携わった。第四に、人間文化創成科学研究科後期課程人間発達科学専攻、保育・児童学領域では、「比較発達行動論」を担当し、また、博論中間発表において示唆を行うと共に、後期課程入試における審査に携わった。第五に、非常勤講師として、共立女子大学家政学部児童学科にて「児童理解の方法?」を講義した。第六に、非常勤講師として、家庭裁判所調査官養成課程研修「子どもの行動観察」の講義を担当した。

■ 研究計画

第一に、幼稚園・保育園などにおける観察と分析を継続し、これらの集積から、幼児集団における仲間関係・仲間文化とその変容について考察を深める。第二に、特別経費「乳幼児教育を基軸とした生涯学習モデルの構築」(代表:浜口順子准教授)、科研費「大学コミュニティにおける乳幼児保育の重層的カリキュラム」(代表:浜口順子准教授)における研究を、附属幼稚園、附属保育所の保育者及び本学保育系教員と協力し進める。

■ メッセージ

幼稚園、保育園など、子どもたちの生活の場における行動を観察・記述・分析している。子どもたちが園で体験することの豊さにいつも驚き、それを研究を通して伝えていければと思っている